（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	フォレストキッズこどもの国教室	公表日	2026年　10月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	適切なスペースを確保していますが、粗大運動の際には怪我に十分注意し、指導員がそばでサポートしています。	大きな課題はありませんが、活動内容によって必要なスペースが異なるため、今後も安全面を確認しながら適切な環境設定を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	配置基準を満たしており、活動内容やお子様の状況に応じて職員配置を調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	TEACCHの考え方を取り入れ、活動場所をわかりやすく分けるなど物理的な構造化を行っています。またスケジュールや視覚的な手がかりを活用し、お子様が見通しを持って行動できる環境を整えています。	トイレの入口や手洗い場の高さがお子様によっては利用しづらいため、必要に応じて踏み台を使用するなど安全に利用できるよう環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	就業前後に清掃を行い、室内だけでなく教材等の消毒も徹底しています。また支援の合間には5分以上の換気を行い、清潔な環境の維持に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5	1	お子様の状況に応じて相談室兼静養室やセレクトルームを活用し、安心して過ごせる環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議や日々の情報共有を通して支援や業務について振り返り、必要に応じて改善につなげています。	職員全体が業務改善に参画できるよう、目標や課題を共有し振り返る機会をより明確に設けていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価表を実施し、ご意見やご要望を職員間で共有しながら支援や事業所運営の見直しにつなげています。	今後もいただいたご意見を職員間で共有し、必要な改善について検討しながらより良い支援や事業所運営につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員会議や日々の情報共有の中で意見を出し合い、支援や業務の見直しにつなげています。	今後も職員が意見を出しやすい環境を大切にし、共有された意見を業務改善に活かしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	FC本部に業務内容を確認してもらう機会を設けており、本部によるSVも定期的に実施されています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	年間計画を策定し、計画に沿って事業所運営や各種取り組みを進めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6	0	5領域とのつながりを明確にした支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	お子様の発達や特性、保護者様の意向を踏まえてアセスメントを行い個別支援計画を作成しています。計画内容は職員間で共有し日々の支援につなげています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管を中心に日々の支援で見られる子どもの様子や課題を職員間で共有し、様々な視点から支援内容を検討した上で個別支援計画の作成につなげています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画の内容や支援目標を職員間で共有し、共通した方向性のもとで日々の支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	各種アセスメントの結果を参考にするとともに、日々の支援での行動や反応を継続的に観察しお子様の発達や特性、得意なことや課題の把握につなげています。	

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	お子様の発達や生活の状況、保護者様の意向を踏まえ、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援や地域連携の視点から必要な支援を整理し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	個別支援会議の際に支援内容について検討しています。また活動プログラムを変更した際には担当職員が記録し、次回以降の支援に反映しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ルーティーンを好むお子様には意図的に活動を固定し定着を目指す場合もありますが、基本的には支援で見られた課題や習熟度、保護者様のご要望に合わせて活動内容を変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育を基本としながら、お子様の発達や特性、支援目標に合わせて必要に応じて小集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	支援内容やお子様の様子について職員間で情報共有を行い、必要に応じて役割を確認しながら連携して支援を行っています。	支援開始前の打合せが充分に行えない場合があるため、短時間でも支援内容や役割分担を確認できるよう情報共有の方法を整えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	3	支援後に子どもの様子や支援の経過について職員間で共有し、気付いた点はその後の支援に活かしています。	支援終了後に充分な振り返りの時間を確保できない場合があるため、共有すべき内容を整理し短時間でも職員間で確認できる仕組みを整えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の支援内容や子どもの様子、反応や変化を記録し職員間で共有することで、その後の支援内容の検討や見直しに活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	施設長や児発管が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	各機関と協力体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	必要に応じて保育所や幼稚園等への訪問や情報共有を行い、集団生活でのお子様の様子を確認しながら事業所での支援につなげています。	幼稚園や保育園との連携の機会には差があるため、保護者様の意向やお子様の状況を踏まえながら必要な情報共有や相互理解を深めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	保護者様のご依頼により適宜就学支援シートの作成を行っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4	2	児童発達支援センターを併用しているお子様について必要に応じて様子や支援内容を共有し、関わり方について相互理解を図っています。	児童発達支援センターとの連携をさらに深め、必要に応じて専門的な助言やスーパーバイズを受けられる機会を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		園や地域のお子様と直接交流する機会は十分に設けられていないため、お子様の特性や保護者様の意向も踏まえながら交流の機会について検討していきます。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援後にはその日の活動内容やお子様の様子、できたことや課題を保護者様へ伝え、ご家庭での様子も伺いながら情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	面談や家族支援を通してご家庭での様子や困りごとを伺い、お子様の特性に応じた関わり方を一緒に考えながら具体的な助言や情報提供を行っています。	ご家族が参加できる研修や学びの機会は充分ではないため、保護者様のニーズを確認しながら家族支援の内容や情報提供の方法を充実させていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	初回面談やご契約の際にご意向やご希望を確認しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	0	個別支援計画の作成や見直しの際に保護者様との面談を行い、希望や困りごとを丁寧に伺っています。また日々の支援で見られるお子様の思いや様子も踏まえ支援内容に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	内容について丁寧に説明を行い、保護者様の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談や日々のやり取りを通してご家庭での様子や子育ての悩みを伺い、お子様の特性や状況に合わせた具体的な関わり方を一緒に考えています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	児発管が仲立ちし、保護者同士で子育ての悩みや経験を共有できる機会を設け、必要に応じて家族同士の交流につながる支援を行っています。	保護者同士の交流やきょうだいを対象とした機会は充分ではないため、保護者のニーズを確認しながら家族が参加しやすい交流の機会について検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申入れがあった際には内容を丁寧に確認し、必要に応じて面談の機会を設けるなど職員間で共有しながら迅速な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	HPやSNS等を活用し、日々の活動内容や事業所の取り組みについて保護者様にわかりやすく発信しています。	情報発信の内容や頻度にばらつきがあるため、必要な情報を適切に届けられるよう発信方法や内容を見直していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	個人情報を含む書類やデータの管理を徹底し、写真等を使用する際も同意内容を確認するなど取扱いに充分に配慮しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お子様の発達や特性に合わせて言葉だけでなく視覚的な手がかりやわかりやすい伝え方を取り入れています。保護者様にも必要な情報が伝わるよう丁寧な説明を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域住民との交流の機会は充分ではないため、事業所の特性やお子様の安全面に配慮しながら地域とのつながりを持つ方法について検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各種マニュアルを策定し職員間で共有するとともに、事故や災害、感染症等を想定した研修や訓練を定期的に実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生を想定した避難訓練や通報訓練等を定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時や面談時に服薬や既往歴、アレルギー、発作等について保護者様から確認し、必要な情報を職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーについて事前に保護者様から必要な情報を確認し、対応内容を職員が確認できる場所に掲示することで情報共有を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、事故や災害等を想定した研修や訓練を定期的に実施しています。職員間で対応方法を確認し安全を意識した支援を行っています。	

	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		今後も安全に関する取り組みをわかりやすく周知し、ご家庭と連携しながらお子様の安全確保に努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットがあった際には職員間で共有し、原因や再発防止策について検討しています。また保育現場等での経験がある職員の意見も取り入れながら安全対策につなげています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止委員会を設置し、定期的な研修を実施することで虐待防止への理解を深め適切な支援について職員間で確認しています。	今後も研修や委員会を継続し、日々の支援を振り返りながら虐待防止に対する職員の意識と理解を深めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束は原則として行わないことを職員間で共有しています。やむを得ず必要となる場合の手続きや対応についても事業所内で確認しています。	今後も身体拘束の適正化について職員間で共通理解を図り、研修等を通して適切な対応や手続きを確認していきます。